



いよいよスタート! 「地域連携教員」 一堂に会して、初の研修会



5月13日(火) 県教育会館で、本年度から県内すべての公立学校に配置された「地域連携教員」を対象に初の研修会が開催され、約650人が参加しました。

研修では、まず、地域連携教員設置の目的とその役割などが説明され、宇都宮大学地域連携教育研究センターの廣瀬隆人教授の「地域連携教員への期待」と題した講話の後、廣瀬教授がコーディネーターとなり、「学校と地域との連携を充実させるために」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

校内の推進体制を整え、これまでも取り組んできた学校支援ボランティアの受入れや地域と連携した活動など、地域の教育力を生かした教育活動を組織的・効率的・効果的に推進していくことの大切さについて、研修を深めることができました。



「地域連携教員の心構え」

- 1 「自立」してはいけない、依存する、人を頼りにする。
→自立は孤立につながる。チームで動き、管理職としっかりつながること。
- 2 地域住民やボランティアに感謝する、謝る、お礼を言う、褒める、賞める、誉める。
- 3 団体に近づく、団体に頼む、頼りにする、団体を生かす。→まずは、顔と名前を一致。
- 4 地域コーディネーターの相談を聴く、相談にのる、こっちも相談にのってもらう
- 5 学校が本気を言い出すまで保護者の目は学校に向かない。
- 6 地域の教育力は何もせずに自然と形成されることはない。(意図的に形成する必要)
- 7 地域や保護者は学校に都合良く行動しない。資源や人材の「活用」では連携不可能。
- 8 生徒の実態は地域の実態を映し出した鏡。地域が良くなるのが大切。
- 9 「共通理解」はあり得ない。必要なのは共通情報と共通行動である。
→学校で必要なのは共通行動。地域と学校が共通理解を図るとするのは幻想。
共通の行動から始めると共感が生まれ、協働ができるようになる。



廣瀬教授の講話から

ふれあい学習課 職員紹介



田代 昭彦

所長補佐兼
ふれあい学習課長



江田 清水

副主幹



葛西 広行

社会教育主事



加々美 仁実

社会教育主事

課の総括
各種表彰
社会教育関係調査 等
ふれあい学習課4年目。
管内市町教育委員会や
関係機関、地域、家庭と
の連携協力の下、使命
を果たして参ります。

ふれあい学習推進
成人教育 (PTA)
地域連携教員 等
**役立つ情報・タイムリー
な情報をお届けできる
よう心がけて、笑顔でが
んばります!**

人権教育
青少年教育
生涯スポーツ 等
**ふれあい学習課スタート
の年となりました。
一生懸命がんばります。**

家庭教育
「県民カレッジ」防災学習推進事業
文化振興 等
**3年目の今年は“3S”で
がんばります!**
Smile(笑顔)
Sincerely(誠実)
Seippai(精一杯)



7/12 (土) いよいよ、とちぎ子ども未来創造大学が開校します!! ～学びのおもしろさを感じてみませんか?～

今年度から、栃木県教育委員会事務局生涯学習課では、子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加えて、学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む態度を涵養することをねらいとして、小学校4年生から中学校3年生を対象に「とちぎ子どもの未来創造大学」を開校します。

県内の高等教育機関・民間企業等との協力を得て、「宇宙・天文」「生物・医学」「科学・実験」「ロボット・ものづくり」など、子どもたちが「本物」に触れる様々な講座を提供します。

なお、講座の申し込みは、「とちぎ子どもの未来創造大学ホームページ」からになります。また、受付は先着順で、定員になると締め切りますので、既に各学校には、講座のポスターやリーフレットが配布されていますが、詳しい情報や新しい情報については、「とちぎ子どもの未来創造大学ホームページ」を御覧ください。



とちぎの未来創造大学 スタートアップ講座

日時：平成26年7月12日(土) 13:30~15:30 (開場12:00)

場所：栃木県総合文化センター

内容：①とちぎ未来創造大学についてのガイダンス

②山崎直子さん特別講座

定員：1,500名(ホームページより申込み)

対象：小学校4年生~中学3年生及び保護者

授業や事業、研修の合間に... ～アイスブレーキング～

グループのよい雰囲気づくり

【積み木自己紹介】(1グループ4人以上)

テーマに添った言葉を付け足して(積み上げて)自己紹介をしていく。

- 好きなもののテーマを決める。(例：食べ物、TV番組・・・)
- 1番目の人は、「ハンバーグが好きな〇〇です。」と自己紹介をする。
- 2番目の人は、「ハンバーグが好きな〇〇さんのとなりのカレーが好きな△△です。」と自己紹介をする。
- 3番目の人は、「ハンバーグが好きな〇〇さんのとなりのカレーが好きな△△さんのとなりのそばが好きな◇◇です。」と自己紹介を順に続け、1番目の人は、全員分言って終わる。

〈ポイント〉

途中で分からなくなった人がいたら、周りの人がヒントなどの声かけをし、助けるようにする。

※ アイスブレーキングとは、「固い氷(アイス)を溶かす(ブレイク)」という意味から、会議や研修会等で、参加者の緊張をほぐしたり、場を和ませたりする手法です。



各種資料の紹介



「学校と地域をつなぐ
子どもの文化芸術活動振興ガイドブック」
(H26.3)



人権に関する社会教育指導資料
「かがやき~子どもたちと人権について学ぶために~」
(H26.3)

栃木県教育委員会では、地域や学校で活用できる様々な資料を作成し、市町教育委員会や各学校等に配布しています。

研修や会議、学校の授業等で、ぜひ御活用ください。

○
あ
と
が
き
○

うっとうしい梅雨の時期ですが、同時に美しい「紫陽花」を眺めることができる季節です。雨の日の風景に溶け込む「紫陽花」の姿は趣き深く、梅雨ならではの楽しみです。今まさに美しく咲く旬の花「紫陽花」。きれいな色とりどりのブルーやパープルに水滴がついている景色には、みずみずしい爽やかさを感じます。自然の彩りの紫陽花を眺めながら、心も体もリラックス&デトックスしたいですね。

塩谷南那須教育事務所
ふれあい学習課

TEL：0287(43)0176

FAX：0287(43)0535

